



読書から、自然・体験・環境等の関わりを考える

(1) ねらい

絵本と食、絵本と自然にふれる活動などを通して、自然環境に対する興味関心を深める。



(2) 対象 (○の下の数字は対象学年)

幼	小	中	高	般
○	○	○	○	

(3) 支援メニュー提供者

NPO 法人絵本による街づくりの会

(4) 形態

出前授業

(5) 関連教科等 * () 内は関連性の強い単元

理科(小3:春の自然にとびだそう)、生活科、
国語科、総合的な学習

(6) 土曜授業

可

(7) 支援メニュー内容

春の絵本を読んでから、実際に身近な自然の中へ飛び出して、春を探す。身体で体験をすることで、人として自然とどう関わっていけば良いか考える機会とする。

<活動例>

- 「里山を歩いて食べて感じよう！」(こども自然体験遊び塾の春バージョン)
- 春がテーマの絵本を読んで、活動につなげる。
- 毎回読んでいるのは、『よもぎだんご』(福音館書店)
- この絵本のお話を追体験してみる。見つけた野草は天ぷらなどにしてお昼の食べ、ヨモギでよもぎ団子作りに挑戦！幼児以上大人まで、自然を実感しながら楽しめるプログラムです。
- 絵本を活動の導入として使うことで、親しみがもてる内容になります。
- 取り組みたいテーマで、プログラムをアレンジすることは可能です。
- 絵本でワークショップ。例えば『じんべえぎめ』の絵本を読んで、実物大のじんべえぎめをみんなで作る。

※絵本を活用した人権学習、福祉学習、平和学習もご相談に応じ個別のメニューで対応します。

(8) 支援メニュー関連ホームページ

<https://www.kyodoshiga.jp/index.php?/member/detail/1941>

(9) 費用

謝金	要
旅費	※要

(10) その他

滋賀県内はどこでも可能です。

支援メニューの出前講座については、通常の活動フィールドが高島市(特にマキノ地区)なので、植生や地理等を把握した上でプログラムを組んでいます。

高島市以外となると当会が実施しているプログラムをそのままというのは難しい場合もあるかもしれませんが、高島バージョンを元に学校側でアレンジするアドバイス等させていただきます。

人数は、20～30人位が望ましい。必要な絵本は用意しますが、準備をお願いするものもあります。

申し込み

この支援メニューは、メニュー提供者のホームページまたは電話・FAX等により直接申し込むことができます。しが学校支援センターを通じて申し込むことも可能です。

相談はしが学校支援センターへ 電話：077-528-4654 e-mail：ma0601@pref.shiga.lg.jp